



みみだより

No.36

鳥取聾学校ひまわり分校

聴能担当

R4.6.15

6月に入り、梅雨入りの声がきこえ始めました。朝晩は涼しいですが、日中はじっとりと蒸し暑い毎日ですね。校外での学習や行事が盛んになるこの時期は、疲れがたまったり気温差に体がついていかなかったりして、体調を崩しがちになります。体調が悪いときこえにも影響してきますので、しっかり睡眠や栄養をとり、毎日を元気に過ごしましょう！

今回は、きこえにも影響する「耳の病気」について取り上げたいと思います。

子どもがかかりやすい 耳の病気

子どもがかかりやすい耳の病気に「中耳炎」があります。中耳炎とは、中耳（右図の赤丸の部分）が菌などの侵入で炎症を起こしている状態をいいます。中耳炎には、「急性中耳炎」と「滲出性中耳炎」があります。

急性中耳炎

中耳腔と鼻の奥をつなぐ「耳管」から入った細菌やウイルスにより感染し、中耳腔に膿がたまる病気。

症状 発熱、耳の痛み、耳鳴り、耳だれ、耳閉塞感 など

原因 風邪、大量の鼻水、鼻すすり

予防 風邪の早めの治療、鼻をかむときは片方ずつゆっくりとかむ。

しんしゅつせい 滲出性中耳炎

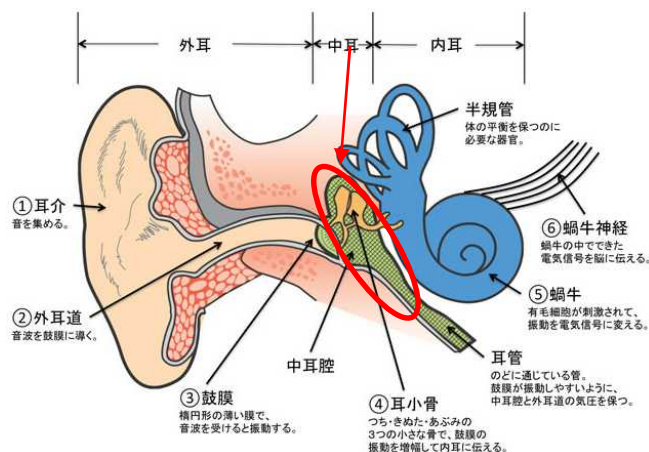
「耳管」の働きが低下し、中耳内部の圧を調整できなくなることにより、中耳腔に滲出液がたまる病気。

症状 急性中耳炎と違い、痛みや発熱がないため、本人は気づきにくい。①耳のつまった感じ（耳閉感）や耳の違和感 ②聴力の低下（ききかえしが多い・大きな声でしゃべる・テレビを見る時に近づいたり、ボリュームをあげたりする・呼びかけても反応しない など）

原因 急性中耳炎からの移行、鼻すすりのくせ、鼻炎などで鼻水が長い間出ている など

予防 風邪の早めの治療、鼻・のどのケア

耳の仕組み



日本学校保健会 HP より

ワンポイント 手話



「プール」



「うんどうかい」

「おやこ手話じてん」より

他にも、耳かきのやり過ぎや、指の爪などで傷つけたために感染を起こす**外耳炎**や、耳垢がたまって外耳道をふさいでしまう**耳垢栓塞**などもきこえに影響を及ぼします。いつもよりきこえの反応が悪いと感じたら、早めに耳鼻科を受診するようにしましょう。また、「ただの風邪」「いつもの鼻炎」と思わず、早めにしっかりと治療するようにしましょう。